

令和5年度重点事業について
令和5年度当初予算の概要

資料5

【総 額】	①17,389,458千円(障害者福祉推進課) ②45,496,906千円(障害福祉事業課) 合計62,886,364千円(前年度当初比 2,382,768千円 1.0%増)	政策経費の推移 (人件費、社会保障費 (義務的経費)を除いた額)	・令和 2年度 2,326,176千円(2課合計) ・令和 3年度 2,464,700千円(2課合計) ・令和 4年度 5,245,018千円(2課合計) ・令和 5年度 2,399,033千円(2課合計)
	うち社会保障費 ①16,080,934千円(障害者福祉推進課) ②44,164,227千円(障害福祉事業課) 合計60,245,161千円(前年度当初比5,222,808千円 1.1%増)		1,091,244千円(障害者福祉推進課) 1,307,789千円(障害福祉事業課)

委員意見（〇年度）
→ 令和〇年度当初予算事業に対する委員意見

主要施策	取組の方向性(七次)	数値目標(七次)	事業名等	事業概要	令和3年度決算額(千円)	令和4年度当初予算額(千円)	令和5年度当初予算額(千円)	※委員意見(4年度)	※委員意見(5年度)	※委員意見(6年度)	説明
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(1)－①、②	3－1共生社会という考え方を 知っている県民の割合 3－2障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例に関する周知・啓発活動の回数	障害のある人に対する理解を広げ、差別をなくすための事業	・「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」や障害者差別解消法に基づき、広域専門指導員等により個別の差別事案の解決を図るとともに、以下の施策を重点的に実施する。 ・「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」及び障害者差別解消法の周知 条例や障害者差別解消法の趣旨の理解が深まるよう啓発に努めるとともに、「マンガでわかる障害者差別解消法」やパンフレット等を活用して、条例や障害者差別解消法の認知度向上を図る。 ・障害者差別解消支援地域協議会、調整委員会の運営 障害者差別解消法に基づき、差別を解消するための取組を効果的かつ円滑に行うために設置した障害者差別解消支援地域協議会の運営を行う。 ・情報・コミュニケーションバリアフリーのための普及啓発の促進 県の各機関をはじめとして市町村や民間事業者において障害のある人の情報保障に必要な配慮が行われるよう、平成29年3月に改正した「障害のある人に対する情報保障のためのガイドライン」を活用し、県の各機関や市町村等に配慮を促す。	69,223	74,521	76,624		県民に対する障害者条例の周知について、今までの周知方法だけではなくメディア等をうまく活用する方法を検討してほしい。(専門・本部会)		
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(3)－①、⑥	3－4虐待防止アドバイザー派遣数 3－5職員対応要領を策定した市町村数	障害者虐待防止対策の推進	障害者虐待防止法に基づく虐待事案への適切な対応を図るとともに、障害者虐待の発生を防止するため、以下の施策を重点的に実施する。 ・虐待防止のための研修の実施 施設従事者等による虐待防止を図るため、意識改革や援助技術の向上に資する研修を実施するとともに、障害者虐待への対応や虐待防止に携わる市町村職員の資質向上を図るため、対応の流れや留意点等を習得するための研修を実施する。 また、市町村や施設・事業所等の相談に応じ、要望があれば県からアドバイザーを派遣して、適切な対応や予防ができるよう情報提供や助言を行う。 ・虐待防止のための広報等の実施 リーフレットの配布や講演会を開催することにより、障害者に対する虐待の防止に関する広報・啓発を行う。 ・虐待防止のための市町村等との連携協力 虐待を防止するため市町村等と連絡会議を開催する等、関係行政機関との連絡調整や情報の共有を図る。	2,352	5,324	5,324				
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(5)－①、②、③、⑥ 3－(6)－①、②、③、④	3－7手話通訳者・要約筆記者実養成講習修了見込者数 3－8盲ろう者向け通訳・介助員実養成講習修了見込者数 3－9手話通訳者・要約筆記者派遣実利用見込件数 3－10盲ろう者向け通訳・介助員派遣実利用見込件数	・手話等の普及のための事業 ・手話通訳者等の派遣体制整備事業	・「千葉県手話言語等の普及の促進に関する条例」に基づき、手話等に関する普及啓発を広く周知していく。 ・同条例及び障害者総合支援法の地域生活支援事業に基づき、引き続き、聴覚障害者のための意思疎通支援のための人材養成の強化と派遣体制の整備及び充実に努める。	47,344	47,511	46,382				手話通訳・要約筆記養成派遣、盲ろう者向け通訳介助員養成派遣、手話等普及啓発、盲ろう者支援(生活訓練)
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(5)－⑤	3－12失語症者向け意思疎通支援者実養成講習修了見込者数	失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業	失語症者が、地域で包括的な支援を受けられる体制を構築することを目的とし、県民を対象として、失語症者向け意思疎通支援者養成研修を実施する。	3,510	3,510	3,510				
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(6)－⑦		障害者IT支援事業	障害者ITサポートセンターの運営やパソコン教室の開催等により、障害者等の情報通信技術の利用機会拡大や活用能力の向上を図り、情報へのアクセスを円滑に行えるよう支援することで障害者等の自立と社会参加を促進する。	12,000	12,000	12,000				
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(5)－⑨		千葉県県点字図書館運営費補助事業	視覚障害者の教養と福祉の推進を図るため、視覚障害者情報提供施設の運営費を補助する。	63,991	63,991	62,903				

主要施策	取組の方向性(七次)	数値目標(七次)	事業名等	事業概要	令和3年度決算額(千円)	令和4年度当初予算額(千円)	令和5年度当初予算額(千円)	※委員意見(4年度)	※委員意見(5年度)	※委員意見(6年度)	説明
3障害のある人への理解を広げ権利を擁護する取組の推進	3－(5)－⑨		聴覚障害者情報提供施設運営費補助金	聴覚障害者に対する、字幕(手話)入りDVD等の貸し出し、手話通訳者の設置、情報機器の貸し出し等コミュニケーション支援、相談事業、文化・学習・レクリエーション活動等の推進を図るため、法人が運営する聴覚障害者の社会参加を総合的に進める県下唯一の拠点施設である聴覚障害者情報提供施設の安定的な運営を図るため、運営する法人に対しその経費を法令の基準に基づき助成する。	31,632	32,193	31,095				